

# SST 例 「イレギュラーな状況への対応について」

## FUNs の SST の独自性

SST＝自分を知るためのプログラム

グループワークやディスカッション形式で進める中で一人一人の障害特性を把握し、SST のプログラム内でカバーしきれなかった事は他のプログラムや個別対応などのアプローチを行う。また、プログラムで学んだ事は日々の事業所の中で実践して取り組めるようにしていきたいと考えている。

### 目的

一定のパターンや指示の中では出来る事も状況や伝え方が違うと不安になり出来なくなることもあり、それがきっかけで自信を無くす事もある。



### アプローチ

安心できる環境・状況と、不安になる環境・状況を知る  
不安な環境、状況になった際にどのようにすればよかの対処法を見つける



### 目標到達

不安になる環境や状況を知っておくことで、事前に伝えることができる。  
そのような環境や状況になった際に対処法を知っておくことで、不安を最小限にすることができると考えられる

## プログラム内容

- ①安心できる環境や状況を皆でディスカッション形式で話し合う  
※発言しやすいようにとっかかりとなるキーワードを出しておくことも可。  
例：人数が少ない 指示を出す人が1人・・・
- ②不安になる環境や状況を皆でディスカッション形式で話し合う  
※発言しやすいようにとっかかりとなるキーワードを出しておくことも可。  
例：人が多くにぎやか 知らない人に声をかけられる環境・・・
- ③対処法となるものを考える  
※発言しやすいようにとっかかりとなるキーワードを出しておくことも可。  
例：深呼吸をする 何を伝えたいかメモをとる・・・

**最終的にはプライベートや就労をした時に対処できるようになれば、生活もしやすくなります。**

## FUNs では

障害特性や得意なこと苦手なことにより一人一人のアプローチ方法が変わってくると考えています。一人一人が自分を知り、生きやすくなる支援をしていきたいと考えています。